

令和6年度 農作物病虫害発生予察3月月報

令和7年(2025年)4月1日
山口県病虫害防除所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平 均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
3.1	10.5	7.4	3.1	14.3	13.1	1.2	7.7	2.3	5.4
3.2	6.8	7.8	△ 1.0	13.2	13.8	△ 0.6	1.5	2.6	△ 1.1
3.3	10.7	8.5	2.2	16.6	14.7	1.9	5.8	3.0	2.8
3.4	5.8	9.3	△ 3.5	10.4	15.5	△ 5.1	2.0	3.8	△ 1.8
3.5	14.5	9.9	4.6	23.4	16.0	7.4	6.7	4.4	2.3
3.6	11.7	10.7	1.0	17.3	16.8	0.5	6.7	5.2	1.5
平均・計	10.0	8.9	1.1	15.9	15.0	0.9	5.1	3.6	1.5
月・半旬	降 水 量 (mm)			日 照 時 間 (h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
3.1	85.5	21.0	64.5	4.1	23.1	△ 19.0			
3.2	2.5	22.3	△ 19.8	30.4	24.3	6.1			
3.3	12.0	23.5	△ 11.5	14.4	25.6	△ 11.2			
3.4	35.5	25.4	10.1	18.8	26.2	△ 7.4			
3.5	3.5	25.8	△ 22.3	45.4	26.5	18.9			
3.6	23.5	29.8	△ 6.3	31.9	33.0	△ 1.1			
平均・計	162.5	147.8	14.7	145.0	158.7	△ 13.7			

II 作物の生育状況

- コムギ : 平年に比べ気温が低く、播種時期によって生育状況に差がある。茎数は平年に比べやや少なく、出穂期は平年並～やや遅い見込み。
- イチゴ : 気温が低めに推移したことから草勢は落ち着いてる。生育は安定しており4月以降も収穫は順調に続く見込み。
- タマネギ : 定植後の気温が平年に比べ低めに推移したことから、平年に比べ生育が遅れている。

Ⅲ 病害虫の発生状況

1 普通作

2025年3月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
コムギ (調査ほ場数:17) うどんこ病、さび病類	下旬の巡回調査では、発生は認められず 平年並みであった。	—	—
縞萎縮病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率17.6% (平年2.4%)、発病茎率7.1%(平年 1.5%)、発病面積率6.8%(平年1.5%)で 平年に比べやや多かった。	県内全域	甚多 少 計 288
黄斑病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率29.4% (平年10.3%)、発病茎率3.8%(平年 4.3%)、発病度0.9(平年1.0)で平年に比 べやや多かった。	県内全域	少 482

2 果樹

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
カンキツ (調査ほ場数:19) かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率21.1% (平年14.2%)、発病葉率6.1%(平年 0.8%)、発病度2.6(平年0.2)、発病葉枝 率6.3%(平年1.3%)で平年に比べ多かつ た。一部の園地で多発生が確認された。	県内全域	多 55 中 55 少 110 計 220
そうか病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率31.6% (平年5.1%)、発病葉率1.7% (平年 0.1%)、発病度0.4 (平年0.0) で平年に 比べ多かった。	県内全域	少 329
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年20.8%)、寄生葉率0%(平年1.4%)で 平年に比べ少なかった。	—	—
ナシ (調査ほ場数:9) 黒斑病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年26.1%)、発病枝率0%(平年 0.3%)、発病芽率0.6%(平年0.1%)で平 年並みであった。	県内全域	少 27

3 野菜

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イチゴ (調査ほ場数:20) 灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平年16.1%)、発病株率0.5%(平年 1.7%)、発病果率0.1%(平年0.3%)で平 年並みであった。	県内全域	少 10
うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年7.6%)、発病株率0%(平年0.9%)、発 病葉率0%(平年0.2%)、発病果率0%(平 年0.1%)で平年に比べ少なかった。	—	—
菌核病	下旬の巡回調査では、発生は認められず 平年並みであった。	—	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イチゴ アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率40.0% (平年21.1%)、寄生株率8.1% (平年2.1%) で平年に比べ多かった。 主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	多 5
			少 35
			計 40
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0% (平年40.6%)、寄生株率15.3% (平年14.3%) で平年並みであった。 主要種はナミハダニであった。	県内全域	甚 10
			中 5
			少 10
計 25			
アザミウマ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率70.0% (平年37.2%)、寄生花率5.3% (平年3.7%) で平年に比べやや多かった。 主要種はヒラズハナアザミウマであった。	県内全域	甚 15
			中 40
			少 15
計 70			
コナジラミ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年27.5%)、寄生株率0% (平年6.3%) で平年に比べ少なかった。	—	—
タマネギ (調査ほ場数:28) べと病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率3.6% (平年6.4%)、発病株率0.1% (平年0.5%) で平年に比べやや少なかった。 1a当たり調査での発生ほ場率7.1% (平年12.1%)、越年り病株 (一次感染株) 数0.2 (平年1.8) であった。 3月11日～12日の県内一斉調査 (135ほ場) では、発生ほ場率8.1% (平年15.2%)、1a当たり越年り病株 (一次感染株) 数1.2 (平年3.0) で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率3.6% (平年6.1%)、発病株率0.1% (平年0.4%) で平年に比べやや少なかった。1a当たり調査では、越年り病株の発生ほ場率7.1% (平年15.0%)、発病株数0.3 (平年0.8) であった。	県内全域	少 6
白色疫病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年3.9%)、発病株率0% (平年0.9%) で平年並みであった。1a当たり調査での発病株数0 (平年11.5) であった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年5.0%)、発病株率0% (平年0.8%) で平年並みであった。1a当たり調査では、発生ほ場率0% (平年10.0%)、発病株数0 (平年6.1) であった。	—	—

病虫害名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
タマネギ 腐敗病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率3.6% (平年3.6%)、発病株率0.1% (平年0.1%) で平年並みであった。1 a当たり調査での発病株数0.1 (平年0.1) であった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率7.1% (平年4.3%)、発病株率0.3% (平年0.3%) で平年に比べやや多かった。1 a当たり調査では、発生ほ場率17.9% (平年14.0%)、発病株数2.6 (平年1.3) であった。	県内全域	中 6
			少 6
			計 12
ボトリチス属菌 による葉枯れ症 (白斑葉枯病)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.4%)、発病株率0% (平年0.0%)、発病度0 (平年0.0) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.7%)、発病株率0% (平年0.0%)、発病度0 (平年0.0) で平年並みであった。	—	—
さび病	中旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.4%)、発病株率0% (平年0.0%)、発病度0 (平年0.0) で平年並みであった。	—	—
軟腐病 萎黄病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—

お問い合わせ先
 山口県農林総合技術センター(山口県病虫害防除所)
 TEL (0835)28-1211(代)